

第2章 村上市の概況とこれまでの取組

2.1 村上市の人口や産業等の概況

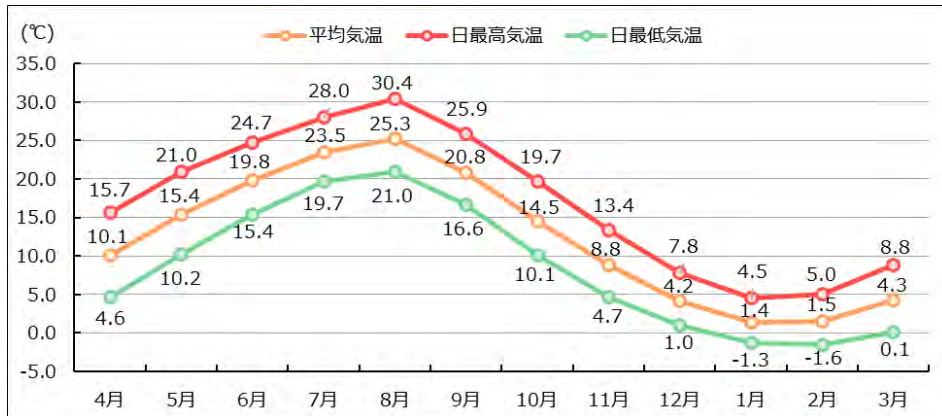
(1) 地勢

本市は県の最北部に位置し、東部は山形県と接して、西部は日本海と面しています。面積は 1,174 km² で、県の総面積の約 9.3% を占めます。

(2) 気候・気象

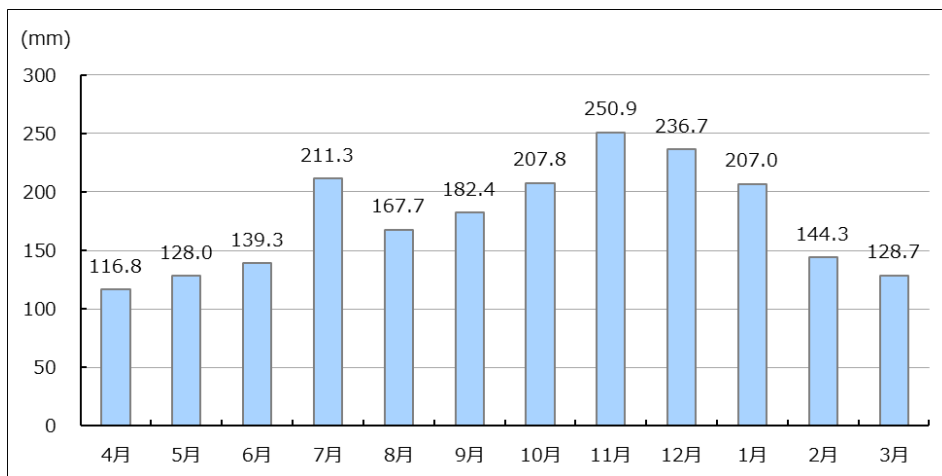
月別気温の平年値（昭和 56 年～平成 22 年（1981 年～2010 年）の観測値の平均）を図 2-1 に示します。夏は日最高気温が 30℃まで上がりますが、冬は日最低気温が-1℃以下まで下がり、気温の年較差の大きい地域です。春夏秋はフェーン現象により高温になることがあります。

年間降水量の平年値は 2,129mm で、月別降水量の平年値は図 2-2 に示すとおりです。7月の梅雨の時期に降水量が多いほか、冬季にも降雪を中心に降水量が多い特徴があります。



出典：気象庁村上気象観測所データより作成

図 2-1 月別気温（平年値）



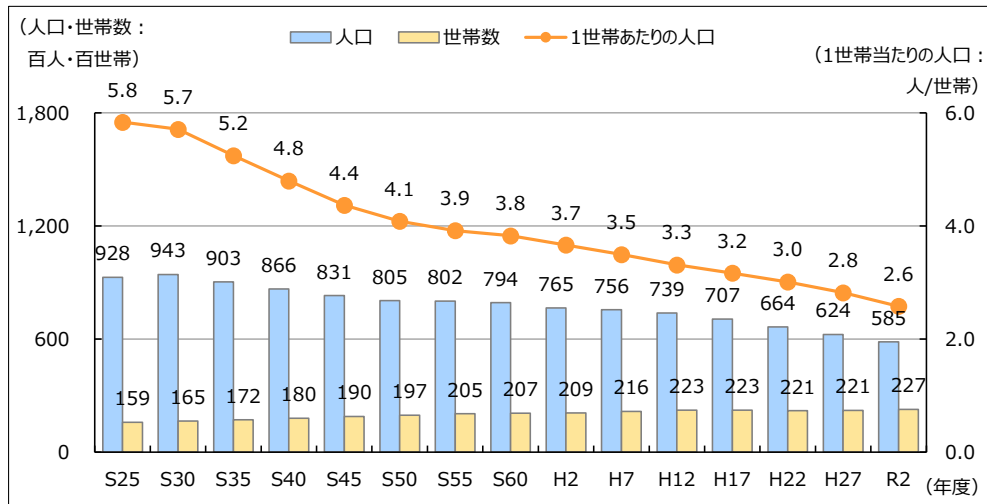
出典：気象庁村上気象観測所データより作成

図 2-2 月別降水量（平年値）

(3) 人口

本市の人口は、令和2年（2020年）10月1日時点の住民基本台帳では、総人口は58,504人で、同時点の新潟県の総人口（2,2217,977人）の約2.6%を占め、県内市町村の第8位となっています。

本市の人口は減少傾向にあり、世帯数は増加傾向から近年は横這いになりつつあります。

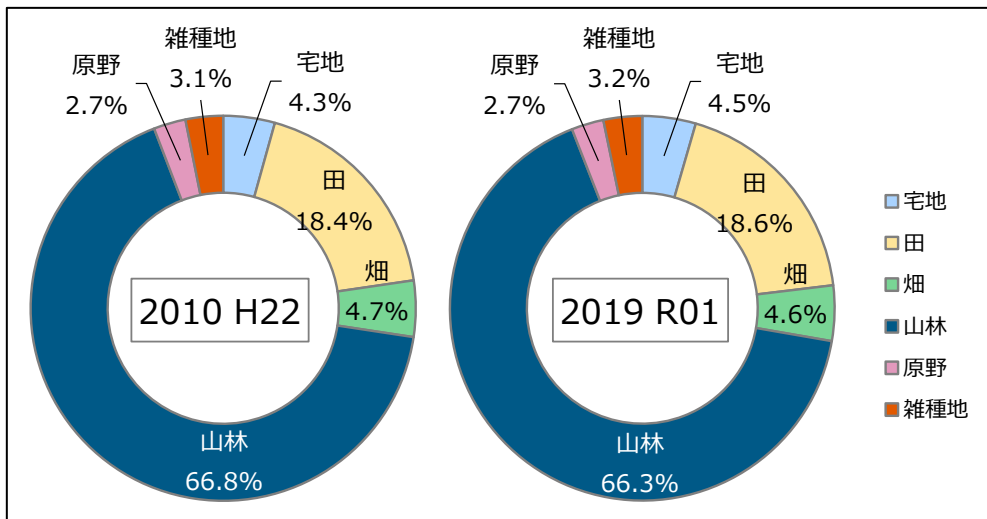


出典：村上市 HP より作成（各年、10月1日時点）

図 2-3 人口・世帯数の推移

(4) 土地利用

本市の令和元年（2019年）時点の土地利用種別の面積は、全体の約69%を林野（山林、原野）が占め、次いで田（約18.6%）、畑（約4.6%）、宅地（約4.5%）の順となっています。

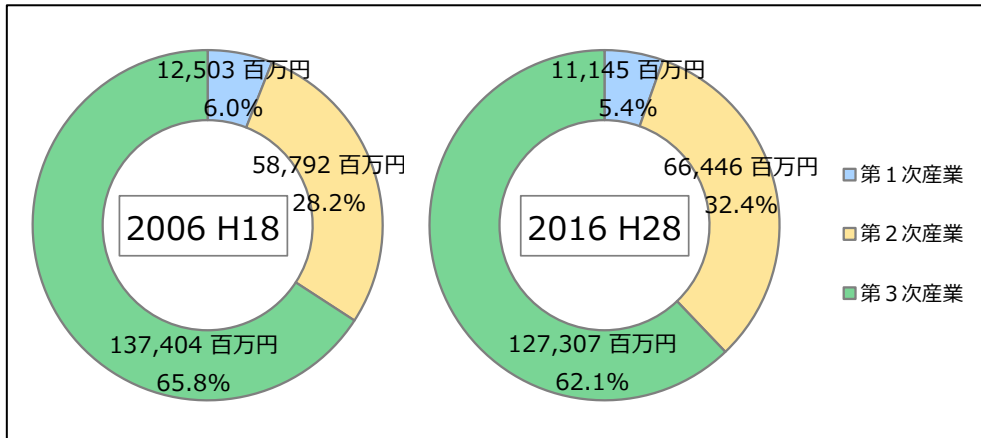


出典：市勢豆知識（村上市）より作成

図 2-4 市の土地利用種別の面積の推移

(5) 産業構造

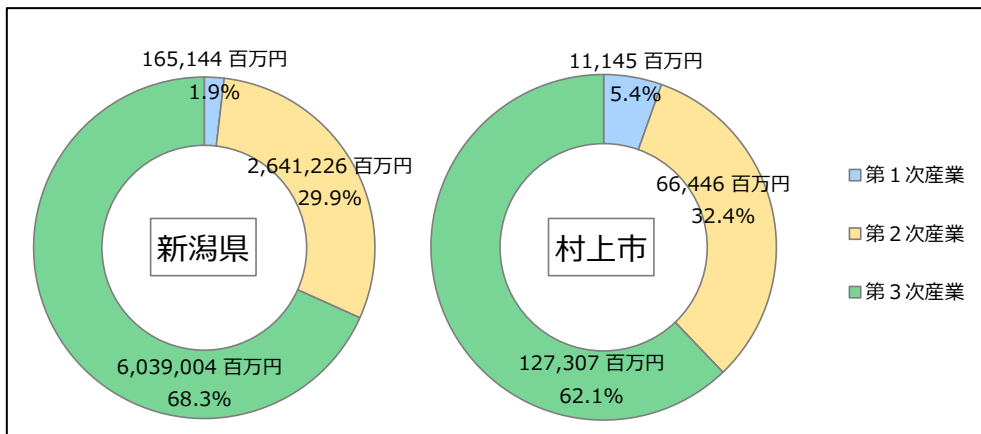
産業別の生産額については、本市では平成28年度(2016年度)時点で、第1次産業が5.4%、第2次産業が32.4%、第3次産業が62.1%となっており、第3次産業の生産額が過半を占めております。しかし、新潟県全体と比較すると、本市は第1次産業と第2次産業の割合が多い点が特徴的です。



備考) 各産業の構成比は第1次～第3次産業の総生産額の合計を100%として計算したもの

出典: 平成28年(2016年)度県民経済計算(新潟県)より作成

図 2-5 市の産業別総生産構成比の推移



備考) 各産業の構成比は第1次～第3次産業の総生産額の合計を100%として計算したもの

出典: 平成28年(2016年)度県民経済計算(新潟県)より作成

図 2-6 県及び市の産業別総生産構成比

(6) 農業

村上市では、排水改良や安定取水の実現、圃場の基盤整備といった、先人の弛まぬ土地改良の努力によって、多様な作物の生産が可能な優良農地が確保されました。特に、朝日・飯豊連峰の山々に源を発する荒川と三面川の豊富な水が流域の広大な水田を潤し、豊かな土壌、そし

第2章 村上市の概況とこれまでの取組

て中山間地域ならではの日較差の大きい恵まれた気象のもと生産される「岩船米」は、新潟三大コシヒカリブランドのひとつとして、本市の農業基盤となっています。また、市内で生産されるネギは、独自の柔らかさと光沢から「やわ肌ねぎ」として全国に出荷され、高い評価を得ています。ナラの木に植菌した原木栽培のシイタケも特産品となっています。

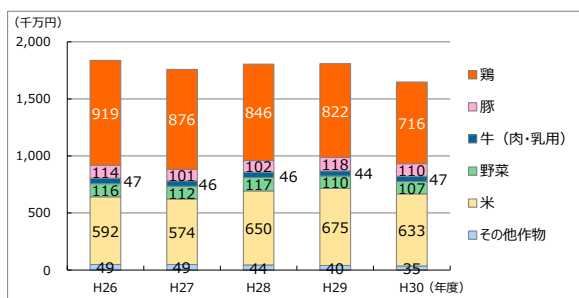
農業生産額の内訳でみると、米のほかに鶏が多いのが特徴です（図 2-8）。養鶏場は朝日地区に多く、採卵鶏として養鶏されています。

農業就業人口は減少傾向にあり、特に本市の多くを占める兼業農家の減少が著しい傾向があります。専業農家は概ね横這いで推移しており、小規模な自給的農家の占める割合が増加傾向にあります（図 2-9）。

近年では、岩船米や村上牛、白皇ヒラメなどをはじめとする、村上市で生産される農林水産物等食材のブランド化や更なる魅力づくりに取り組んでいます。

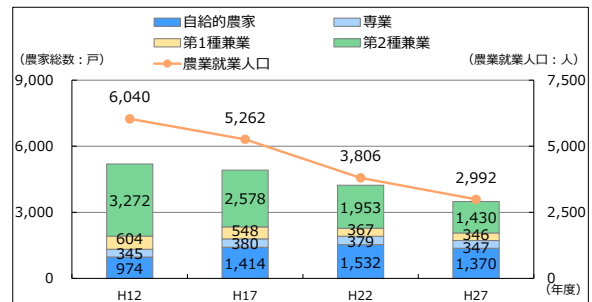


図 2-7 本市の特徴ある農産物の例



出典：農林水産省 HP
(市町村別農業産出額（推計）)より作成

図 2-8 農業産出額の推移



出典：市勢豆知識（村上市）より作成

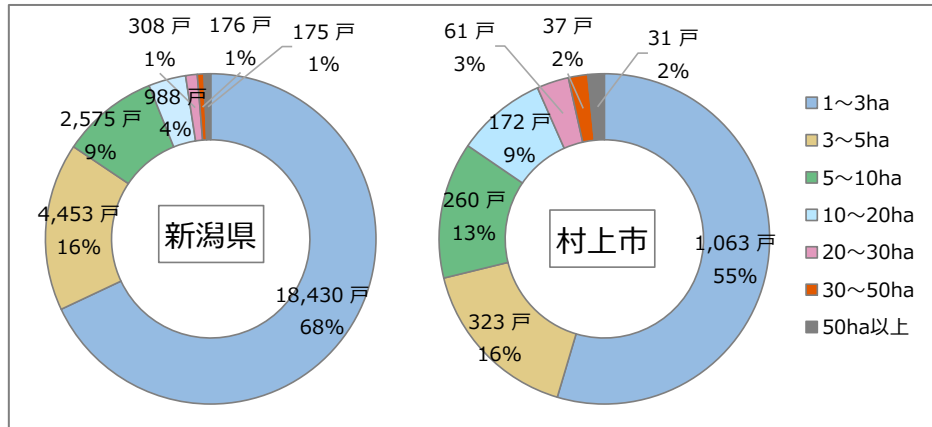
図 2-9 農家総数の推移

(7) 林業

平成29年(2017年)時点の林野面積¹²⁶は99,994haであり、新潟県全体の11.7%を占めています。このうち国有林面積は46,784ha(新潟県全体の16.1%)、民有林面積は53,210ha(新潟県全体の9.4%)となっています。保有山林規模別林家数を図2-10に示します。

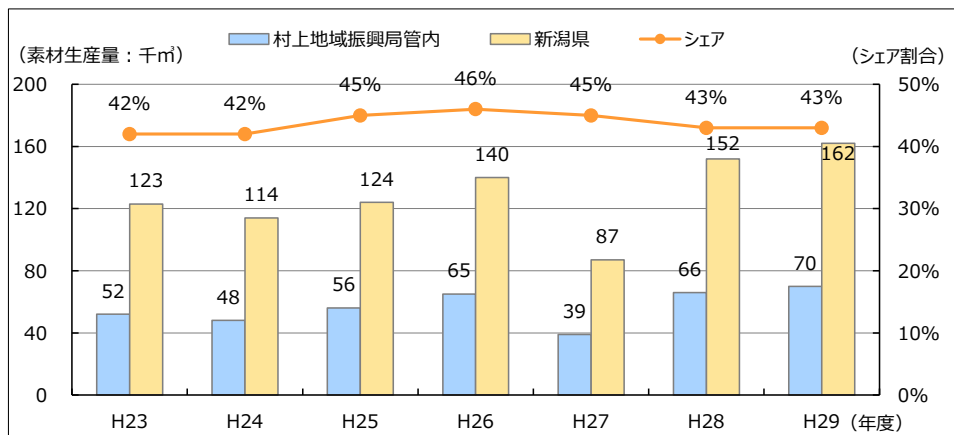
保有山林規模別の林家数の構成比をみると、本市は県よりも規模の大きい山林を保有する林家の割合が高い特徴があります。

木材の生産に関しては、本市は新潟県内でも最も盛んであり、村上地域振興局管内の素材生産量は新潟県全体の生産量(162千m³)の43%を占めています(図2-11)。



出典：新潟県地域森林計画書(新潟県)より作成

図 2-10 保有山林規模別林家数



備考) 村上地域振興局管内：村上市・関川村・粟島浦村の合計値

出典：村上地域振興局管内林業の概要 平成31年(2019)度版(村上地域振興局)より作成

図 2-11 素材生産量の推移



高性能林業機械ハーベスタによる玉切り



高性能林業機械フォワーダによる集材

図 2-12 本市の林業風景

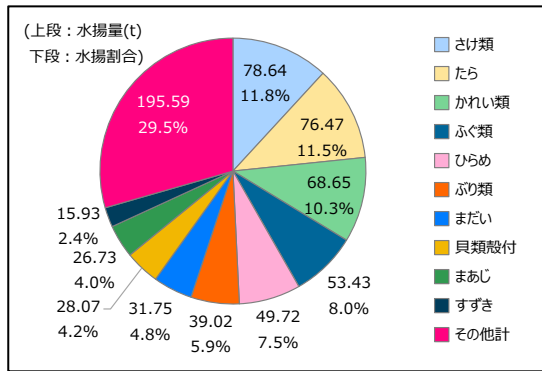
(8) 水産業

本市では海岸線を有する山北・村上・神林地区で海面漁業²¹が行われています。主な漁港として、地方港湾である岩船港と、第2種漁港である寝屋漁港があります。

岩船港での魚種別の上場水揚量⁷⁴はさけ類、たら、かれい類が多くなっています(図 2-13)。岩船港での上場水揚量は近年減少傾向にあります(図 2-15)。

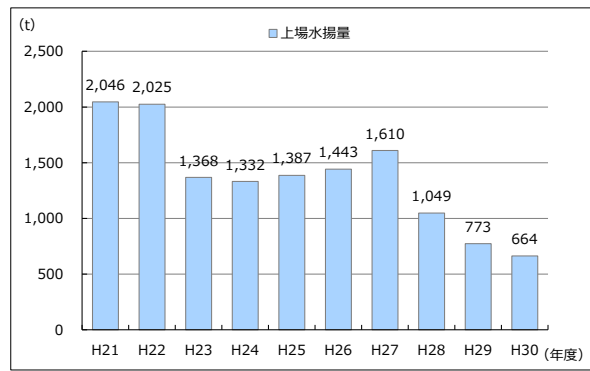
漁業種類別経営体数では、採貝・採草が43.6%と最も割合が高く、底びき網(30.7%)、刺網(11.7%)と続いています(図 2-14)。

内水面漁業¹⁰⁰としてはサケ漁が盛んです。三面川鮭産業協同組合では毎年、主にサケやサクラマスの稚魚の放流を行っています。三面川のサケ採卵数・放流数・漁獲数の推移を図 2-16 に示します。



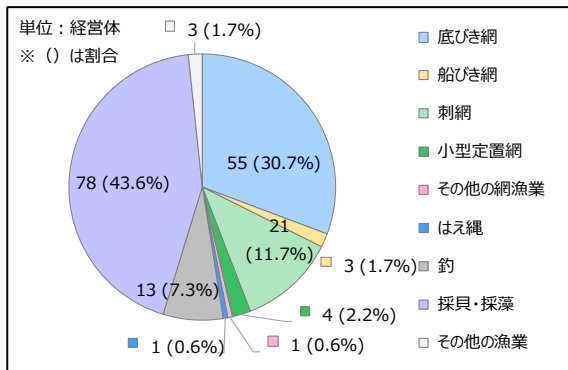
出典：水産物流通調査（水産庁）より作成

図 2-13 岩船港における上場水揚量内訳(平成30年)



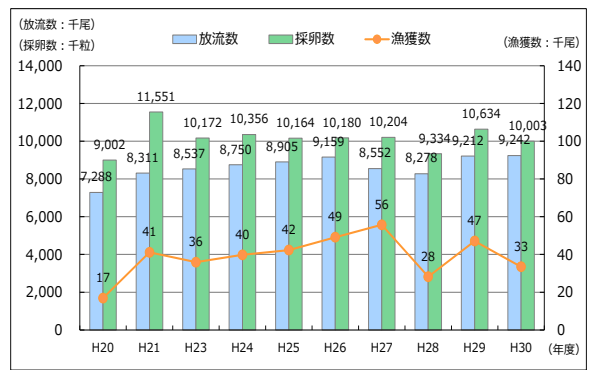
出典：水産物流通調査（水産庁）より作成

図 2-15 岩船港における上場水揚量年間総数の推移



出典：2013年漁業センサス（水産庁）より作成

図 2-14 主とする漁業種類別経営体数内訳(平成25年)

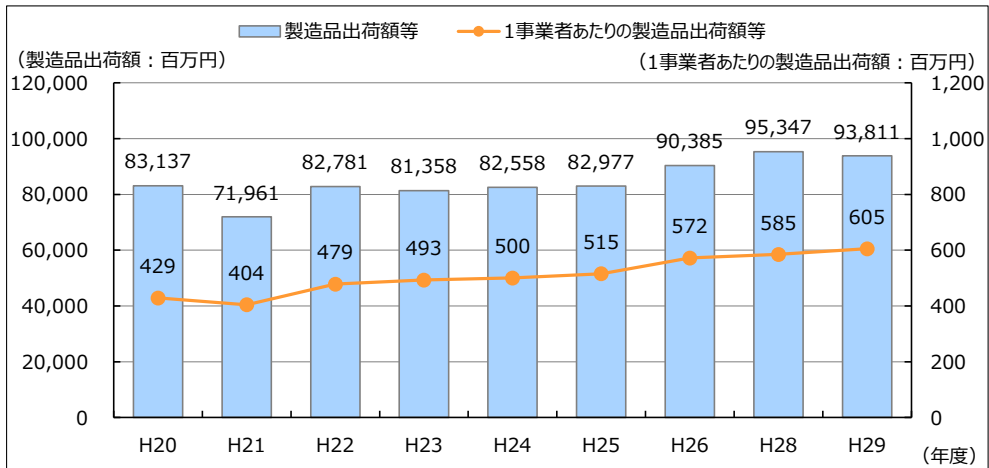


出典：市勢豆知識（村上市）より作成

図 2-16 三面川のサケ採卵数・放流数・漁獲数の推移

(9) 工業

本市の工業については、事業所数と従業者数は減少傾向にありますが、製造品出荷額等は微増傾向にあります。現在、市内には村上市工業団地・山北工業団地・神林工業団地の3ヶ所の工業団地があります。製造品出荷額及び1事業者あたりの製造品出荷額の推移を図 2-17 に示します。



出典：市勢豆知識（村上市）より作成

図 2-17 製造品出荷額及び1事業者あたりの製造品出荷額の推移

(10) 商業

本市の商業については、商店数、従業者数、商品販売額ともに減少傾向にあります。中心市街地の昔ながらの店舗は減ってきており、現在では国道7号沿いの村上地区仲間町～上助瀧、荒川地区藤沢～坂町付近で大型店舗等の商業活動が盛んです。



中心市街地

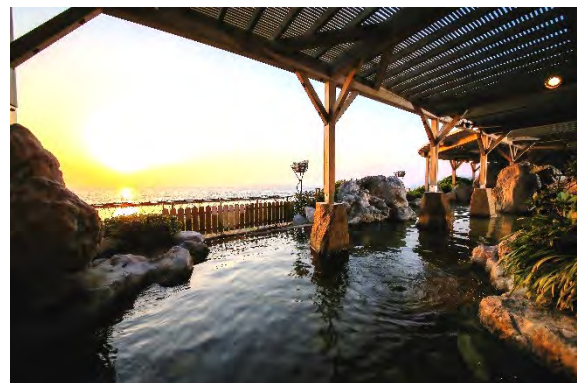


村上地区仲間町～上助瀧

図 2-18 市街地



瀬波温泉海水浴場



瀬波温泉

図 2-19 瀬波温泉

2.2 第1次村上市環境基本計画におけるこれまでの取組

第1次村上市環境基本計画では、将来の望ましい環境像として「山・川・海 豊かな自然に育まれた歴史と伝統を継承するまち」を掲げ、これを実現するための5つの基本目標を設定し、環境施策に取り組んできました。

これまでの主な取組状況を以下に整理しました。

【基本目標1：緑豊かな山々と美しい水辺のある自然と親しみ自然と共生する】

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・村上市森林整備計画等に基づく計画的かつ適正な森林整備。 ・「さけの森林づくり」等の森林ボランティア活動。 ・農作物への被害を与える有害鳥獣の捕獲、駆除。
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・森林の多面的機能の保全と人工林における林分¹²⁹育成の向上には間伐等の更なる取組が必要。 ・原生自然⁴¹、湧水や海岸など、本市の特徴的な自然環境への関心を高める取組が必要。 ・農村環境の保全で農産物の価格優位性に繋がる取組が必要。

【基本目標2：清潔で安全・安心な生活の中で資源の循環を追求する】

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・公共用水域⁴⁵、地下水等の水質検査の継続実施。 ・ボランティア環境美化活動の支援。 ・資源ごみ⁵⁹回収が行いやすい環境の整備。 ・生ごみ処理機器等の購入補助。
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・大気環境、水環境、土壌、地下水などの生活環境の取組とその効果は良好。 ・リサイクル率は微増したものの、ごみ排出量はほとんど減っておらず、ごみ排出量削減に関する取組には更なる努力が必要。

【基本目標3：歴史と伝統のある地域社会の中で快適な暮らしを創造する】

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財の保護と景観の保全。 ・景観に配慮した道路施工の実施。 ・公園や広場の整備。
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の満足度にはつながっていないと考えられるため、市民一人一人が本市の歴史と文化の地域資源を意識していけるように、普及啓発や情報発信に努めることも必要。（令和元年度（2019年度）に実施したアンケート結果より）

【基本目標4：地域から世界を考え地球環境の保全に取り組む】

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・環境フェスタ等での二酸化炭素排出抑制の啓発。 ・住宅用太陽光発電と木質バイオマスストーブ¹²³の設置費用の一部補助。
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ・新エネ対策は図られているものの、それが市民や事業者の効果的な取組につながっているとは考えにくく、より効果的な施策の展開が必要。

【基本目標5：環境の保全に市民・事業者・行政が一体となって取り組む】

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり協議会¹¹⁸や環境フェスタを通じた主体間における環境情報の共有化。 ・地球温暖化対策地域協議会の設置。
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・市民・事業者・中学生の環境に関する認知や関心は全体的に向上しており、意識啓発は進んでいる。（令和元年度（2019年度）に実施したアンケート結果より） ・環境活動への参画の向上があまり見られず、環境活動への参画を促す取組が必要。（令和元年度（2019年度）に実施したアンケート結果より）

なお、第1次村上市環境基本計画における環境指標の推移を資料編7.4（1）に記載しています。



三面川居線網²



越後村上鮭塩引き街道

図 2-20 村上市のサケ文化



日本酒



どぶろく雲上

図 2-21 村上市の特産品